

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)		-	-	-
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・コンビニなので、災害が続くと、特に台風19号の時には、かなり来店数、客単価が上がった。その後も売上の的には好調を維持し続けている。災害を1つのきっかけに、やはりコンビニの便利さを多少再確認してもらえたのではないかと考えている。
		住関連専門店（店長）	販売量の動き	・台風19号の被害が甚大なため、復旧に必要な物資の動きが増えている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は雨天の日が多く、人出が少ない。各地の体育祭や年1回の祭典も雨にたたられて、地域に活気が出ていない。消費税増税も少し影響しているのではないかと。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・増税後だが思いのほか悪くない。前月好調だった化粧品やアクセサリーは不振だが、その他には大きな落ち込みがない。キャッシュレス還元もスタートしているが、認知不足は否めず、知らない人が多い。
		スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・観光地の店舗以外は前年と比べて変動がなく、若干客単価の良い状況が、増税後も変動なく推移しており、変わらないとしたが、台風や災害による買いだめの影響も否めない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数は1日当たり40人減で前年比95%。客単価は1日当たり20円増、同102%である。日商は、1日当たり1万3000円減、同97.5%で推移している。10月は天候が悪く、売上が伸び悩んでいる。また、祝賀行事などで、工場のお休みが多かったことも影響している。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・台風19号や大雨などの災害があったために、来客数、販売数に影響が出ている。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・当店の客は年金受給者がかなり多い。今月は年金支給月だったが、前々月には幾らか出てきた客が、今月はどこに行ってしまったのだろうかというくらい、本当に客の流れがない。このままだと、かなり厳しい。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・消費税増税後の余波はさほど感じないが、単価の低い商材が中心になっている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・前月、前々月と比べて、中古車、新車の販売量が順調に推移している。車検整備、板金、一般修理関係も順調に入庫している。当社はやや良い状態で推移している。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・当地域は人口が減少傾向で、若者が余りいない。消費税増税は、消費にやや消極的な影響を与えている。身の回りに、良くなる話が余りない。ただ、若干、株価などが上がってきていて、少し期待ができそうである。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・客単価は余り動かなくなってきた。天候が悪く、客足が思うほど伸びていない。
		都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税の影響が多少はあるかとみていたが、大きく減少という状況にはない。
		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・台風19号の影響で団体予約のキャンセルが出たが、宿泊は保険会社の予約で穴埋めができていた。しかし、料飲部門は直に影響を受けてしまい、ディナーや宴会等で見込んでいた分が、マイナスとなってしまっている。
	都市型ホテル（営業）	来客数の動き	・宿泊はやや落ち着いており、インターネット予約の金額ダウン等も持ち直しつつある。宴会も落ち着きつつあるが、台風19号の影響等で、地元大手企業の部品供給が一時ストップし、休業せざるを得なくなるなど、先行きは不透明で厳しい状況にある。	
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・雨の日が多かったので昼の動きが良く、増税分2%を含めても、前年同月と比べて6%の増収である。	
	通信会社（経営者）	販売量の動き	・消費税増税に伴い、地方の景気は更に低迷を極めている。当業界のみならず、ユーザーである小売、物販、飲食等の全ての業種が厳しい。	

通信会社（局長）	販売量の動き	・消費税増税となったが、大きな変化はない。クレジットカードでの契約希望が増えている。当社自体は、キャッシュレス決済でのポイント還元は実施していないものの、客は他用途を含めた全体で、ポイント還元に関心になっていると感じる。
ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・前年を上回ったのは5月のみで変化がない。台風予報の影響で、来場者キャンセルが発生してしまったが、台風によるコースや施設等への被害はなかった。来客数の動きは、天気予報や天候に左右されやすい。
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、ほぼ変化がみられない。
設計事務所（所長）	競争相手の様子	・消費税増税前の駆け込み需要は期待したほどではなく、むしろ様子見の施主が多かったようである。
設計事務所（所長）	競争相手の様子	・増税後極端に景気が下がった様子はない。ただし、先日の台風の影響が景気にどう出るかは不透明である。
住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・不動産の動きは余りぱっとしないが、店舗等の引き合いが、ちらほら増えてきた感じがする。飲食店関係が多く、事務所関係は余りない。不動産も良い物件には客がすぐ飛び付くが、少し郊外だとほとんど引き合いがない。
商店街（代表者）	来客数の動き	・消費税増税直前1週間から増税後の現在まで、来客数が大きく減り、回復の兆しがみえない。また、悪天候の日が続き、外出の機会が少なく、大雨に対する不安の話題がよくでる。
一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・増税が効いて、やや悪くなっている。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税に伴う消費マインドの悪化に対し、様々な集客策を講じたものの、想定より状況が悪い。特に、台風を始めとした天候不順の影響が大きい。
百貨店（役員）	販売量の動き	・増税前の駆け込み需要が想定より大きく、その反動を受けている。
百貨店（店長）	来客数の動き	・消費税増税で月初の来客が低迷したことに加え、台風19号の影響で1日半の休業を余儀なくされたことを除外しても、来客数が前年より5%程度下降している。
コンビニ（経営者）	それ以外	・今月は台風19号の影響で、来客数、観光客の大幅な減少で、売上も減少している。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月は、「警戒レベル5」といった台風19号の災害があり、来客数が激減したため、悪い。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・毎日の商材入荷量が減少している。
家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税前に家電商材全般が好調に推移したため、やや悪くなっている。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・当地域の自動車メーカーは、順調に稼働し始めたと思ったら、今度は先日の大雨による水害等で、下請企業が浸水のため部品を納入できない状態となり、約1週間、生産がストップしてしまった。また、消費税増税などで街の雰囲気は覇気を感じられない。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・消費税増税のタイミングと台風19号による災害で、現況がどういう状態なのかは、判別しにくい。増税の反動減が台風の影響で、一瞬消えている。
その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	お客様の様子	・台風15号や19号の大雨災害情報が、テレビから連日放送され消費マインドは縮小してきている。消費税増税関連では9月末に少し恩恵があったものの、クレジット決済による5%還元は、高齢者にまで影響を及ぼしているようで、今月は慎重に消費をしているように感じられる。
一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・台風19号による風評被害で、やや悪くなっている。
その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	お客様の様子	・路面店や施設内飲食店の空き店舗、空き予定区画や空きスペース等の飲食転用について、出店検討を依頼されるケースが増えている。増える空きスペースを飲食で埋めていこうとする傾向が強まっているようである。代謝を促す側面はあるものの、先の見通しから、退店検討する店舗も増えている。

	都市型ホテル (経営者)	販売量の動き	・台風19号により障がい者団体が開催されず、団体用に押さえていた部屋が大量にキャンセルされた。規定上、当日と翌日分しか補償されない。天災だからこそ補償をちゃんとしてもらえていない。大損害である。
	旅行代理店(所長)	来客数の動き	・やはり、台風15号、19号の影響が大きい。現在、交通網も復活はしているものの、例年ほどの来訪はみられない。1番のピーク時期の上、週末の襲来が大きく影響している。
	通信会社(社員)	それ以外	・台風災害等の対応に追われている。
	通信会社(総務担当)	販売量の動き	・前年同月と比べて減少が止まらない。
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・台風19号の襲来が秋の3連休を直撃し、前年を大幅に下回っている。また、甚大な被害が県内外の広範囲に渡って発生したことにより、その後の入場者も減少している。
	その他サービス [自動車整備業](経営者)	それ以外	・今月12日未明からの台風19号の被害は、大風と洪水のダブルパンチを受けている。低迷していたなかで、操業を停止せざるを得ず、売上、来客数共に、大幅に減少している。
	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・6月以降、販売量の動きが鈍くなっている。消費税増税後は、動きがあるかと思われたものの、いまだに動きは鈍い。
	× 乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・消費税増税の影響で悪くなっている。
	× 一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・増税の影響に加え台風などの天候不良、休日が多い等、悪い材料がそろってしまっている。
	× スナック(経営者)	お客様の様子	・台風19号や大雨災害が起きて、予約キャンセル等が増えており、12月までの予約も随分少なくなっている。
	× タクシー運転手	お客様の様子	・当地区は流しのタクシーがなく、電話を受けてから迎えに行くが、依頼の電話数が半分以上減っている。自家用車の送迎が多く、駅から乗車する人数もかなり減っている。
	× ゴルフ練習場 (経営者)	来客数の動き	・毎週のように台風の影響があり、客の来店が少ない。
	× 美容室(経営者)	来客数の動き	・結婚式や旅行シーズンなのに例年とは違い、客の動きが鈍い。地味婚といわれて久しいが、以前よりも招待客の規模が縮小し、冠婚葬祭全てで同様に感じる。
企業 動向 関連 (北関東)	-	-	-
	窯業・土石製品 製造業(総務担当)	受注量や販売量 の動き	・稼働期に入り、順調に推移している。
	輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・北米向け自動車輸出は93か月連続で続いていた前年超えが途絶えた。要因は、8月の好調の反動による9月月初の在庫不足である。在庫さえ整えば、まだ販売が伸びる勢いはある。
	一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・油圧建機業界やロボット業界等に関して、この秋から回復するとの楽観的見込みがあったが、低迷が続いている。
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・10月に入って消費税増税があったので、多少受注が減るかと思っていたが、前年並みぐらいで推移をしている。今のところ、増税による生産の落ち込みはない。
	輸送用機械器具 製造業(経営者)	取引先の様子	・この数か月、取引先や競争相手等の様子は余り変わらない。まずまずの売上である。
	建設業(開発担当)	受注量や販売量 の動き	・公共工事主体で売上の95%を占めている建設業である。現政権誕生後公共工事は順調に推移している。今回の台風19号や大雨を経験すると、公共工事は国土の安全を考えた場合、大変重要で、当社も社会貢献の一員になっていると思いを新たにしている。今期公共工事は前年比9%増、当社も前期比10%増の受注と順調である。ただし、10年以上前の建設業不況の影響で、小規模建設業は大変厳しい状況にあることに変わりはない。

	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・台風19号や大雨災害により、延長コードリールやカセットコンロ発電機などの輸送量が目立って増えている。消費税増税前の家電関係の詰め込みもあり、前年より10%ほど物量が落ちており、全体的には前年並みの物量である。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・住宅関連などは別として、消費税率引上げ前後の個人消費に、特別大きな変化はみられない。企業の設備投資も大きな変化はうかがえない。	
	司法書士	受注量や販売量の動き	・地域人口の減少が、ポディーブローのように効いているようで、なかなか浮上の糸口がない。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税の影響もなく、特段の変化は見られない。	
	化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・一部に好調な部門もあるものの、価格が安く、総じて芳しくないため、やや悪くなっている。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・昇降機部品の受注は7月がピークで、8月は30%減、9月は20%増、10月は横ばいである。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・台風による災害復旧に人員が取られていて、通常業務が進まず、受注も少ない。	
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・台風19号や大雨水害の影響で、退出が出たり、建屋修復の必要がある。現在、工事等の見通しが立たないため、悪化している。	
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・取引先から「取引の見直しにより管理業務の一部を削減したい」との話があり、今月から管理委託業務がなくなった先があり、売上が減少している。	
	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・広告主である住宅、特に、地元工務店や自動車ディーラーの販売数がかなり悪い。休日の集客イベント動員状況も前年同期より1割程度落ちているようである。消費税増税前の駆け込みも少なかったため、厳しい状況である。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・退職後しばらくしても再就職が決まらないためか、離職票が欲しいという人が増えているような気がする。	
	×	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・上期同様、取引先からの受注が低迷している。
雇用 関連	-	-	-	
(北関東)	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数の直近3か月や前年同月期をみても、変わらない。有効求人倍率も1.5倍台と高い状況が続いている。有効求職者数も有効求人同様傾向である。	
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・今月からの消費税増税に加え、台風19号の被害を受けた企業もある。今後、景気が悪化する可能性の高い要因は複数ある。	
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・食品製造等の募集傾向は活発だが、他の機械関係、機械器具、自動車部品、電子等の募集はほとんどない。物流関係は依然として活発だが、介護関係、看護職は人手不足が深刻である。	
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・しばらく人が少ない状況で、仕事は少しあるが、働く人がほとんどいない。困っている。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・長期の依頼が減少傾向である。	
	人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	・自動車関連の部品製造企業への派遣、請負の生産計画が減少したため、やや悪くなっている。	
	職業安定所（職員）	それ以外	・消費税増税の影響に加え、台風19号で被災した事業所もあり、全体的には悪くなった印象である。	
	×	*	*	